

くらしに役立つなんでも相談

健康の悩み、生活・家庭の心配ごと、誰に相談したらいいか、どこに相談したらいいか、なんでも気軽にご相談ください。



友の会コーナーへ

健康づくり 生きがいづくり 友だちづくり まちづくり

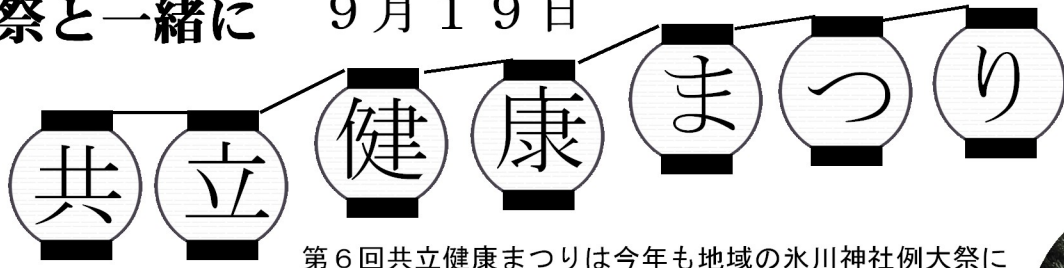
友の会だより

中野共立友の会・広報委員会発行
〒164-0001 中野区中野5-45-4

Eメール：a_nozawa@kenyu-kai.or.jp
Tel:03-3386-9139

氷川神社例大祭と一緒に

9月19日



参加者 700人

第6回共立健康まつりは今年も地域の氷川神社例大祭に合わせ開催。友の会員や職員、地域の諸団体による多彩な催しにいろいろを添えたのは、入院され回復された方のご縁で登場した阿波踊り。まつりは一気に盛り上がりました。

打越町会
藤田会長「あいさつ」



お神輿を担ぐ高津院長

10月～12月は仲間増やし月間

お友達をご紹介ください



体脂肪測定・眼圧検査・骨密度測定に大行列



今年一番人気、高円寺「葵新連」の阿波踊りに歓声



健友会の歴史を学ぶ



山本副院長もヨイショ！
子供たちは興味深々



新婦人の会と法人本部の賑わい



模擬店で職員大奮闘



入会して頂きました



7日分の餅つき
できあがり即完売



体力測定も



華やかフラ・太極拳・コーラス「花水木」・友の会喫茶



今年は友の会で
ころばん体操の普及



健康まつり大成功「オー！」



熱戦！
囲碁将棋大会



岩手県山あいの「沢内村」。全国に先駆け、老人と乳児の医療費無料化を実現した「奇跡」と「感動」のドラマ

11月16日(火)

①10時～ ②14時～ ③18時半～

なかのZERO小ホール

前売り 一般1200円 中高生・障害者1000円

前売券は友の会コーナーで販売中

中野・杉並健康友の会まつ

11月9日(火)～11日(木) 作品展 なかのゼロホール 11月30日(火) 芸能まつり なかの芸能小劇場

[作品展出品と芸能まつり出演の申込書は、友の会コーナーにおいてあります。]

B型肝炎訴訟早期解決へ

共立病院で学習会

8月11日中野共立病院でB型肝炎訴訟の学習会が行われ、職員・医系学生42人が参加し、3人の原



告と瀬川宏貴弁護士から感染の原因や病状、訴訟に至った経緯など聞きました。

この訴訟は、集団予防接種での注射器の使いまわしが原因でB型肝炎ウイルスに感染したとして、患者や遺族が国に損害賠償を求めているものです。最高裁が2006年注射器の使用の責任を認め、札幌市の5人につ

告と瀬川宏貴弁護士

いて勝訴が確定。昨年成立した肝炎対策基本法も国が責任を負うべきことを明記していますが、国は被害者への謝罪・賠償を行っていません。原告のAさんは「家事をするのがやっと。一刻も早く解決に应运じて」と。ご主人を肝がんで亡くしたBさんは「国は人間の心を持って応えてほしい」と訴え、参加者は早期全面解決を求める署名や支援の呼びかけに応えました。

日本高齢者大会に参加



第24回日本高齢者大会が9月13・14日に茨城県水戸市で行われ、中野共立友の会から4人が参加。全国から2日間延べ4500人以上が、「まちから村からの連帯でひとりぼっちの高齢者をなくそう」と分科会や全体会で活発に話し合われました。

健康ウォーク



9月28日(火)、あいにくの雨模様でしたがウォーキング好きが13人集まり、皇居東御苑、千鳥ヶ淵戦没者墓苑など約5キロを歩きました。東御苑の広大な庭園には植物が豊富にあり、緑を楽しみながら散策。戦没者墓苑には、はじめて来た人が多く、菊を献花し、「お参りができて良かった」とみな口々に。帰路は雨もすつかり上がっていました。



私たちの仲間

通所リハビリテーション

室長 山本尊子



通所リハビリは病院を退院し、継続したりハビリが必要な方々の支援や、在宅での療養生活のお手伝いをする場所です。デイケアとも呼ばれます。



室長(前列左から2番目)とスタッフのみなさん

職員は、医師、看護師、理学・作業・言語療法士と介護職、運転手の総勢22人と充実、また、たくさんの方々に支えられ運営



してまいります。利用者様はケアマネージャーを通じて、介護保険を利用しての支援1〜要介



平行棒で頑張って体操をする利用者のみなさん

の利用者様から、昔話や戦争の話や聞かせてもらったり、私たち職員も悩みを聞いてもらい、励まされたりしながら、共に楽しく日々を過ごしています。

新サークルスタート

会員募集

卓球 第1・3(月) 10時~ 共立診療所4階 会費: 200円/月 お待たせしました。初心者も大歓迎!

日本舞踊「白扇会」 第4(土) 13時半~ 共立診療所4階 会費: 500円/月 まずは「奴さん」を練習して芸能まつりで踊りましょう。



※他サークルも会員募集中

結核について

中野共立病院 研修医 伊藤 洪志

☆結核に感染することとは違います

多くの場合は、結核菌が身体の中に入っても、身体の中に入っても、追い出されます。しかし、結核菌が追い出されず、体内に居ることがあります。この状態を「感染」といいます。やがて結核菌が身体で活動し始めると、せき、たん、発熱等の症状が現れます。ただし、感染した人が全員発病するわけではありませ

☆薬を飲めば結核は治ります

結核を発病しても現在良い薬が開発されており、きちんと毎日薬を飲めば結核は治ります。薬は病状にあわせて原則として3、4種類を組み合わせて使います。多くの場合は半年から1年間で服し、治療を始めて通常2週間程度たつと、患者さんから周りの人へ感染することは少なくなります。

結核は、発病すると始めは、せき、たん、発熱等の症状が出ますが、風邪の症状に似ているため、発見が遅れることがあります。2週間以上せきが続き、病院、診療所を受診してください。結核は発病すると治療の間がかかる病気ですが、「治らない怖い病気」ではありません。

☆結核の感染を調べる検査

結核とは、結核菌が身体の中に入ることによって起こる病気です。結核患者さんがせきやくしゃみをする時、飛沫(しぶき)といっしょに結核菌が飛散します。それを周囲の人が吸い込むことにより感染します。

結核の感染を調べる検査には、ツベルクリン反応検査とQFT(クオンティフェロン)検査があります。ツベルクリン反応検査は腕に注射をして2日後にその部位の腫れ

結核を調べる検査です。QFT検査は血液を採取して行う検査です。胸のレントゲン写真で、結核菌による肺炎がどのくらい広がっているかなどを見ることが出来ます。